



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月22日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社
 コード番号 9656 URL <http://www.greenland.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江里口俊文
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 佐伯賢二
 四半期報告書提出予定日 2020年5月25日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福

TEL 0968-66-2111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,130	△33.2	△163	—	△142	—	△158	—
2019年12月期第1四半期	1,693	6.9	76	261.2	74	383.9	54	366.4

(注)包括利益 2020年12月期第1四半期 △197百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△15.33	—
2019年12月期第1四半期	5.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	21,144	11,010	52.1	1,065.08
2019年12月期	21,313	11,279	52.9	1,091.16

(参考)自己資本 2020年12月期第1四半期 11,010百万円 2019年12月期 11,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定としています。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	10,346,683 株	2019年12月期	10,346,683 株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	9,260 株	2019年12月期	9,260 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	10,337,423 株	2019年12月期1Q	10,337,424 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用に当たっての注意事項については、[添付資料] 3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛が広がる中、主力事業である九州の遊園地をはじめとして、九州のホテル等、一部の事業所において臨時休業や営業時間の短縮等の対応を行ってまいりました。

この結果、遊園地セグメント、ゴルフセグメント、ホテルセグメントとも利用者数が減少したため、売上高が大幅に減少し、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,130,875千円（前年同期比33.2%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少等により、営業損失は163,928千円（前年同期は76,340千円の利益）、経常損失は142,548千円（前年同期は74,023千円の利益）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は158,508千円（前年同期は54,720千円の利益）となりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	1,130,875	1,693,332	△562,457	△33.2
営業利益	△163,928	76,340	△240,268	—
経常利益	△142,548	74,023	△216,572	—
親会社株主に帰属する四半期 純利益	△158,508	54,720	△213,229	—

報告セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

・遊園地セグメント

北海道のスキー場は1月の記録的な雪不足や、2月以降も新型コロナウイルスの感染拡大の影響により利用者数が減少しました。また、九州の遊園地も2月までは順調に利用者数が増加したものの、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛が広がる中、3月に17日間の臨時休園を実施したこともあり、利用者数が大幅に減少しました。この結果、当セグメントの売上高は前年同期比355,440千円減収（△41.5%）の501,959千円となりました。

・ゴルフセグメント

3ゴルフ場は、韓国からの利用者の減少や、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるコンペのキャンセルも相次ぎ、利用者数が減少したため、当セグメントの売上高は前年同期比26,313千円減収（△11.6%）の200,709千円となりました。

・ホテルセグメント

九州及び北海道のホテルとも新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛要請の影響が大きく、宿泊部門、宴会部門とも低調に推移したため、当セグメントの売上高は前年同期比139,589千円減収（△33.0%）の282,841千円となりました。

・不動産セグメント

不動産セグメントは、土地賃貸収入がほぼ前年並みとなったため、363千円増収（+0.9%）の39,614千円となりました。

・土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントは、建設資材の販売増加による売上高の増加はあったものの、客土用土販売の減少の影響が大きく、売上高は前年同期比41,477千円減収（△28.2%）の105,750千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間の資産額合計は21,144,070千円（前連結会計年度末比169,804千円減少）となりました。

流動資産は、628,937千円（前連結会計年度末比95,956千円減少）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は、20,515,133千円（前連結会計年度末比73,848千円減少）となりました。主な要因は繰延税金資産が増加したものの、投資有価証券、建物及び構築物、無形固定資産のその他（主に借地権）が減少したことによるものであります。

流動負債は、3,526,765千円（前連結会計年度末比284,802千円減少）となりました。主な要因は短期借入金が増加したものの、未払法人税等、未払金、買掛金、営業未払金が減少したことによるものであります。

固定負債は、6,607,163千円（前連結会計年度末比384,673千円増加）となりました。主な要因は長期預り金が減少したものの、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、11,010,142千円（前連結会計年度末比269,675千円減少）となりました。主な要因は利益剰余金、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、政府から2020年4月7日に発令された緊急事態宣言や各自治体から出された外出自粛要請等を受け、九州の遊園地をはじめとする当社グループの一部事業所におきまして、臨時休業や営業時間短縮等を4月上旬から継続中でありまして、（5月14日の政府による緊急事態宣言解除ならびに熊本県の各種自粛要請の解除の状況等を勘案し、九州の遊園地におきましては5月29日より営業再開を予定しております。）

また、提出日現在において新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せず、合理的な業績予想の算定が困難であるため、2020年12月期の業績予想につきましては、2020年4月17日に公表いたしましたとおり一旦「未定」とさせていただきます、業績予想の公表が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	350,742	323,100
受取手形及び売掛金	207,356	145,084
商品及び製品	51,317	48,639
原材料及び貯蔵品	54,003	46,661
その他	64,924	68,664
貸倒引当金	△3,451	△3,213
流動資産合計	724,893	628,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,850,966	3,808,918
機械装置及び運搬具(純額)	577,432	563,607
土地	14,929,214	14,929,485
その他(純額)	201,510	200,122
有形固定資産合計	19,559,123	19,502,134
無形固定資産		
その他	244,678	212,994
無形固定資産合計	244,678	212,994
投資その他の資産		
投資有価証券	298,315	240,635
繰延税金資産	262,577	331,221
退職給付に係る資産	166,776	171,876
その他	58,610	57,369
貸倒引当金	△1,100	△1,100
投資その他の資産合計	785,179	800,003
固定資産合計	20,588,981	20,515,133
資産合計	21,313,875	21,144,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,526	34,893
営業未払金	127,494	88,451
短期借入金	2,891,190	2,992,522
未払金	397,694	275,029
未払法人税等	163,263	16,193
賞与引当金	-	22,612
その他	145,400	97,062
流動負債合計	3,811,568	3,526,765
固定負債		
長期借入金	3,449,694	3,861,633
長期預り金	2,626,402	2,598,662
退職給付に係る負債	9,086	9,484
その他	137,307	137,383
固定負債合計	6,222,489	6,607,163
負債合計	10,034,058	10,133,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	2,283,838	2,052,968
自己株式	△3,036	△3,036
株主資本合計	11,228,737	10,997,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,079	12,274
その他の包括利益累計額合計	51,079	12,274
純資産合計	11,279,817	11,010,142
負債純資産合計	21,313,875	21,144,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,693,332	1,130,875
売上原価	1,472,174	1,153,447
売上総利益又は売上総損失(△)	221,157	△22,572
販売費及び一般管理費	144,817	141,356
営業利益又は営業損失(△)	76,340	△163,928
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1,620	1,440
受取賃貸料	2,080	2,080
受取保険金	4,427	20,854
雑収入	676	6,903
営業外収益合計	8,804	31,278
営業外費用		
支払利息	10,918	9,841
雑損失	202	57
営業外費用合計	11,121	9,899
経常利益又は経常損失(△)	74,023	△142,548
特別利益		
固定資産売却益	12	2,507
特別利益合計	12	2,507
特別損失		
固定資産除売却損	0	30,082
投資有価証券評価損	-	1,471
臨時休業による損失	-	※ 33,387
特別損失合計	0	64,940
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	74,036	△204,982
法人税、住民税及び事業税	25,685	4,147
法人税等調整額	△6,370	△50,621
法人税等合計	19,315	△46,474
四半期純利益又は四半期純損失(△)	54,720	△158,508
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	54,720	△158,508

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	54,720	△158,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,183	△38,805
その他の包括利益合計	18,183	△38,805
四半期包括利益	72,904	△197,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,904	△197,313
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、政府及び各自治体から出された外出自粛要請等を受け、九州の遊園地をはじめとする当社グループの一部事業所で、ゴールデンウィークを含む期間におきまして臨時休業や営業時間短縮を実施いたしました。このため、3月の臨時休業期間中の遊園地事業において発生した固定費（人件費・減価償却費など）及び3月から5月にかけてのイベント中止に係る費用を臨時休業による損失として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建 設資材事 業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	857,399	227,022	422,431	39,250	147,228	1,693,332	-	1,693,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,168	2,680	6,396	5,241	8,584	24,072	△24,072	-
計	858,568	229,703	428,828	44,492	155,812	1,717,404	△24,072	1,693,332
セグメント利益又は損失(△)	123,844	△4,227	△20,170	28,642	27,827	155,916	△79,576	76,340

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△78,922千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建 設資材事 業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	501,959	200,709	282,841	39,614	105,750	1,130,875	-	1,130,875
セグメント間の内部売上高 又は振替高	737	2,709	5,524	2,802	9,882	21,656	△21,656	-
計	502,696	203,418	288,366	42,416	115,633	1,152,531	△21,656	1,130,875
セグメント利益又は損失(△)	△18,070	△16,500	△106,840	26,794	37,674	△76,943	△86,985	△163,928

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△79,431千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

(新型コロナウイルスの感染拡大による影響)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、政府から2020年4月7日に発令された緊急事態宣言や各自治体から出された外出自粛要請等を受け、九州の遊園地をはじめとする当社グループの一部事業所におきまして、臨時休業や営業時間短縮等を4月上旬から継続中であり、(5月14日の政府による緊急事態宣言解除ならびに熊本県の各種自粛要請の解除の状況等を勘案し、九州の遊園地におきましては5月29日より営業再開を予定しております。)

このため、当該休業等が当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を及ぼす可能性があります。

なお、提出日現在において新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せないため、影響額は合理的に見積もることは困難であります。